

てきおう

No. 11

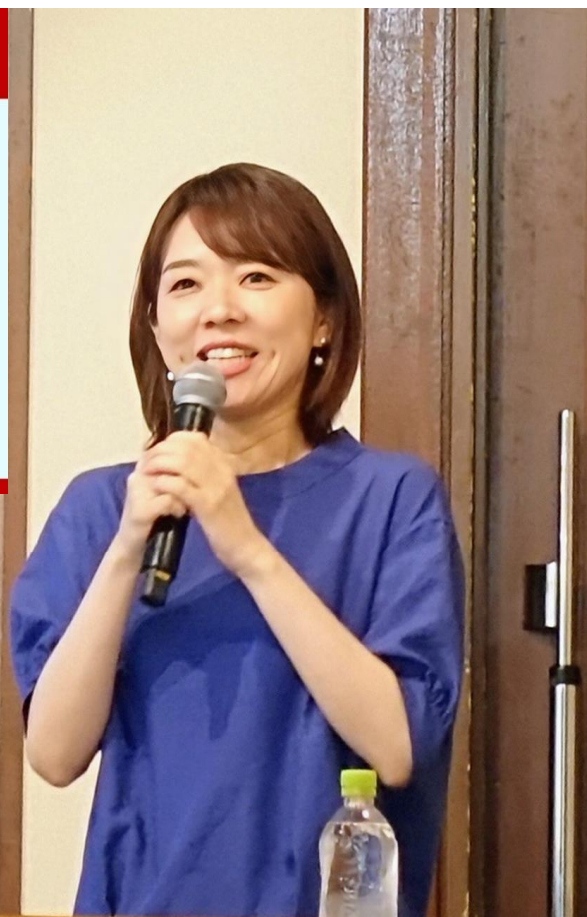
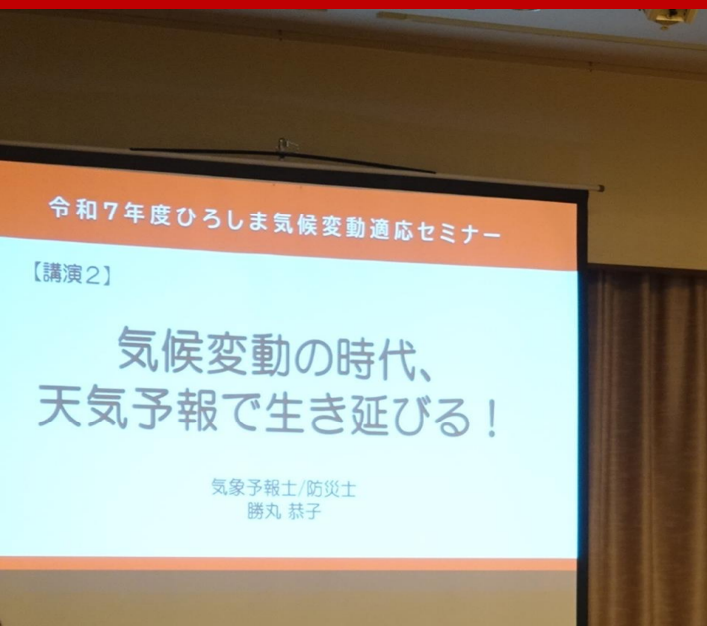
JUNE
2025

写真提供：ひろしま気候変動適応セミナー実行委員

令和7年度ひろしま気候変動適応セミナー

高齢者を守れ！ 熱中症の予防と知識

日時 令和7年6月11日(水) 13:30~15:30 (開場13:00)



気象予報士/防災士
勝丸 恭子

高齢者の熱中症対策

6/11 セミナー開催

県民の皆様、熱中症への理解を深めていただくため、ひろしま気候変動適応セミナー「高齢者を守れ！熱中症の予防と知識」を開催しました。

講師の講演内容の概要を紹介し、講演の資料や一部動画をホームページで公開していますので、是非ご覧ください。



セミナーホームページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou/seminar5.html>

熱中症の現状と将来 及びその対策について

国立環境研究所気候変動適応センター
岡 和孝 氏

2024年は世界中で最も暑い年となり、日本の熱中症救急搬送数も約10万人と過去最高となりました。

国は2030年を目標に、熱中症死亡者数が現状から半減することを目指して様々な対策を進めています。

熱中症による死亡者の8割以上が高齢者で、その多くが屋内で亡くなっており、高齢者対策と住居対策、エアコンの利用等が重要となります。

高齢者のための熱中症対策として、遮熱日傘の有効性や、民生委員や宅配弁当事業者等による訪問時の見守りといった事例がこれまで紹介されています。

熱中症は自然災害と違い防げる災害です。適切な対応で身を守りましょう。



セミナー会場の様子

気候変動の時代、 天気予報で生き延びる！

気象予報士／防災士
勝丸 恭子 氏

地球温暖化による気候変動により、猛暑日や熱帯夜の増加だけでなく、ゲリラ豪雨や巨大台風など気象災害も多発しています。

暑さによる熱中症の予防にはタイミングを決めた水分補給が有効です。最高気温だけでなく、前日との気温差や風の有無、体調などにも注意してください。

暑さ指数が2.8を超えると熱中症患者が急に増えますが、暑さ指数は周囲の環境によって異なります。体育館等、異なる環境の暑さ指数は①環境省の熱中症予防情報サイトを見ればわかります。



勝丸恭子氏 講演の様子

気象予報士として皆さんに情報を伝えていますが、対策してもらえなければ意味がありません。気象予報士のコメントには、天気のポイントやリスクなど、画面以上の情報が含まれています。ぜひ耳を傾けてください。そして、危険だという呼びかけを聞いたら、助かるために行動してください。

今後の気象災害に備えるため、②気象庁HP早期注意情報や、③キキクル（危険度分布）等の最新情報を活用して、自分の身を守るとともに、高齢者に対しては、こうした情報を伝えることで、危険から守ってあげてください。

①広島暑さ指数



②広島早期注意情報



③キキクル

